

---

# 再愛

飛六区

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
再愛

【コード】  
N3132D

【作者名】  
飛六区

【あらすじ】  
別れた彼女に再び恋をして、寄りを戻してゆく

## 第1話 彼女との出会いそして別れ

2年前の夏

僕は海で一人でサーフィンをしていた。その日は、朝から暑かった僕は1年前にかつたサーフボードを、手にし、海へと繰り出した。そして、散々楽しんだ後あがると、ある女性が話しかけてきた

「サーフィン上手いわね。ちょっと教えてよ！」びっくりした。人生初の逆ナンだった。僕は嬉しくて、直ぐに

「喜んで」と、口に出してしまった。そして、二人で、楽しんだそして、僕は

「疲れたし休もうか？」と言った彼女は、

「良いよわかった」と言つて二人で、砂浜に、座つた一人できたのでもちろんパラソルも、持ってきてない困つた僕を見て彼女は、自分の車の中から、パラソルを取り出した。僕はびっくりしたが、二人でパラソルをひろげ、座つたいろいろ話してくうちに彼女は名前が大宮奈都で、年は僕より一つ下の、22歳だった。アパレル会社に、勤めてるらしい、それから二人は、その日から、付き合い出した。そして二人は、順調に交際していたのだが、付き合いだして、1年がたったある日、その日は、朝から仕事で、建築業だった僕は、電話にも出られないくらい、とても、忙しかった。彼女の電話にも、でずにいた。そして、仕事が一段落した後、先輩に誘われキャバクラに、行った。そして、散々飲んだあと、家に帰って、鍵を取り出し鍵を回すと、閉まってしまった、おかしいなど、思つてまた、鍵を回した、そしたら開いたなぜか、開いた、開けたまんま家を、飛び出したのかと想い一瞬はっとした。しかし、その想いは見事にくつがえされた。そう、ドアを開けると玄関に、彼女が、怒つた顔をして、立っていた。そして僕は、ようやくきずいた。実は今日は、彼女の誕生日で、彼女に合鍵を昨日わたして

「待つてて、仕事終わったら直ぐに行つて、祝つてやるから」と、

言ったのをすっかり忘れたのだ。3時間も遅刻し、なおかつ、夜遅いこともあって、僕はつい

「もう寝るは、帰っていいよ」と言っつて、直ぐに部屋に入つてそのまま寝てしまった。翌朝起きて、朝ご飯を食べようと、ご飯をよそつて机に置いたその時、机を見たら紙が置いてあつたその紙には、こう書いてあつた。「これで終わりにしましょ」そう、彼女は一言置き手紙を、残したまま僕の元から去つてしまった。

第2話 彼女と再び出会う(前書き)

僕(智紀)

奈都 智紀の元カノ

後に彼女

麻由 奈都の友達

智紀の友

達

泰樹 敦也

## 第2話 彼女と再び出会う

二人が別れて1年半がたった夏の日僕は、再び別れた彼女と会った海へ向かったそして、車を走らせていた。その日は、親友 泰樹と、敦也と一緒にだった。二人は、職場の、同僚だった。車の中でいろいろ語っていた。そしてあと30分で、着くという所で、ヒッチハイクをしていた女性二人が立っていた。一人の女性は、見覚えのある顔だったそう、前に別れた奈都だった。僕はつい車を止めてしまった。そして窓を開けこう告げた

「乗りなよ」彼女も気付いたらしく最初は戸惑ったが友達に誘われ乗ったそして車の中で彼女（奈都）にこう話した 「久しぶりだね 元気だった」ちよつとからかいながら言ったそしたら彼女は「うん」と一言答えたそんな時もう一人の女性が話してきた

「誰、奈都の知り合い？」僕はつい口がすべって

「俺の元カノさ」奈都は、急に俺に小言で耳打ちした

「何でいうのよ」俺も小言で

「いいだろ本当のこと何だから」それを聞いた奈都の友達は少し無言になった後こう言った

「そうなの！奈都に聞いたよ元カノひどい男だってあなただったの！何、奈都こないいい男といいいな私ならひどい事されても愛するけどな まいいじゃない楽しもう」俺は

「あ おう」奈都に再び耳打ちした

「なんだよあの女て言うか誰なの」奈都は

「私の友達あなたと別れた後、新しい仕事してその時に出会った子、名前は麻由よ」

「ってまさかナンパしようとしてる」 僕が答えようとした時車が止まったやつと着いたそこは、奈都と行った海だった。そして降りたら奈都の元に駆け寄り話の続きを始めた

「あんな子ナンパするわけないだろ だってまだお前と別れた事後

悔してるんだからさ」「そして一言

「ごめんな」奈都は

「馬鹿ね気にしてないよ今日は楽しもうね」「この時俺はこの時想  
た彼女とやり直したいと

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3132d/>

---

再愛

2011年2月2日03時33分発行